

# 利用成果報告書

- 1 課題番号 R3-E37
- 2 報告者 岸川 孝弘 東京大学医学部附属病院 消化器内科
- 3 利用区分 成果公開有償利用
- 4 利用課題名 化学療法に伴う癌関連タンパク質の細胞内局在の解析
- 5 使用装置名 共焦点顕微鏡 SP5
- 6 利用期間 令和 3 年 4 月 6 日 ~ 令和 3 年 4 月 12 日
- 7 利用成果・実績の概要 共焦点顕微鏡を用いることによって、癌細胞における標的タンパク質の細胞内局在を詳細に観察することが可能となった。分子標的薬治療前後の癌関連タンパク質の局在の変化を追跡することによって、増殖関連シグナル伝達経路の異常をとらえることが可能となった。
- 8 社会・経済への波及効果 本研究成果をまとめた論文が英文科学雑誌に掲載された。
- 9 学会等における口頭・ポスター発表 該当無し
- 10 学会誌・雑誌等における論文掲載

掲載した論文(発表題目)	発表者氏名	発表した場所(学会誌・雑誌等名)	発表した時期	国内・外の別
WWP1 inactivation enhances efficacy of PI3K inhibitors while suppressing their toxicities in breast cancer models	Kishikawa T, Higuchi H, Wang L, Panch N, Maymi V, Best S, Lee S, Notoya G, Toker A, Matesic LE, Wulf GM, Wei W, Otsuka M, Koike K, Clohessy JG, Lee YR, Pandolfi PP.	J Clin Invest.	2021年12月	国外